

【別紙】

○肥料登録への取り組み

2012年 イネ科植物等への育成促進研究を静岡大学等で実験し、良好な結果。
2017年3月 溶融スラグの肥料仮登録申請完了。同年4月以降、肥料としての販売開始。

溶融スラグの肥料成分
(静岡市 西ヶ谷清掃工場産)

可溶性けい酸 (SiO ₂)	32.5%
く溶性苦土 (MgO)	2.0%
アルカリ分	39.8%



イネ系植物の茎やモミの成長にはけい酸成分が必要であり、溶融スラグ肥料が効果的である。

溶融スラグの肥料効果試験の様子



溶融スラグ 肥料

従来肥料 (ケイカル)

肥料なし

試験の結果、イネの茎やモミへのけい酸成分の吸収率が、肥料なしの場合に比べて10%~25%アップすることが分かった。

イネがけい酸を吸収すると茎が丈夫になり、倒害や病気に強くなる。



コメの収穫量が増える。